

令和2年度

学校関係者評価委員会報告書

令和3年9月

学校法人鹿光学園
青山製図専門学校

1. 学校関係者評価委員（アイウエオ順）

白井 誠 氏	株式会社 ROOTS	代表取締役
遠藤 和広 氏	有限会社 EOSplus（イオスプラス）	代表取締役
駒田 裕樹 氏	株式会社ケンシン	代表取締役
古垣 哲史 氏	清水建設株式会社	
丹羽 健夫 氏	株式会社叶設計	代表取締役

2. 青山製図専門学校学内

山崎 輝夫	校長
中田 隆彦	法人本部長
新井 長秀	副校長
平城 一公	法人本部入学相談室室長
長瀧 史明	インテリア学部部長
武井 克憲	建築学部次長
栗山 雅之	インテリア学部次長
宮野 人至	建築学部科長
佐藤順一郎	教務課課長（事務局）
西原 雄一	教務課（事務局）

3. 学校関係者評価対象期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日（令和2年度）

4. 委員会開催について

例年は9月中に対面にて委員会を実施しておりましたが、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書類送付及び電子メールでのやりとりにての実施としました。

ご意見の内容につきましては、本報告書として取りまとめ、学内の会議やミーティングにて周知の上、これからの学校運営や教育活動の継続的改善にいかします。

5. 評価結果の公表について

評価結果について、ホームページで公表します。

<https://www.aoyamaseizu.ac.jp/about/disclosure>

6. 評価基準及び学校関係者評価について

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	①理念・目的・育成人材像は、定められているか。 ②育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか ③理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか。 ④社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか。

自己点検評価:4(5段階評価)

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(2)学校運営	①理念に沿った運営方針を定めているか。 ②理念等を達成するための事業計画を定めているか。 ③設置法人は組織運営を適切に行っているか。 ④学校運営のための組織を整備しているか。 ⑤人事・給与に関する制度を整備しているか。 ⑥意思決定システムを整備しているか。 ⑦情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか。

自己点検評価:4(5段階評価)

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(3)教育活動	①理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。 ②学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。 ③教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。 ④教育課程について、外部の意見を反映しているか。 ⑤キャリア教育を実施しているか。 ⑥授業評価を実施しているか。 ⑦成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。 ⑧作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。 ⑨目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。 ⑩資格・免許取得の指導体制はあるか。 ⑪資格・要件を備えた教員を確保しているか。 ⑫教員の資質向上への取り組みを行っているか。 ⑬教員の組織体制を整備しているか。

自己点検評価:4(5段階評価)

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(4)学修成果	①就職率の向上が図られているか。 ②資格・免許取得率の向上が図られているか。 ③卒業生の社会的評価を把握しているか。

自己点検評価:4(5段階評価)

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(5)学生支援	①就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。 ②退学率の低減が図られているか。 ③学生相談に関する体制を整備しているか。 ④留学生に対する相談体制を整備しているか。 ⑤学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか。 ⑥学生の健康管理を行う体制を整備しているか。 ⑦学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか。 ⑧課外活動に対する支援体制を整備しているか。 ⑨保護者との連携体制を構築しているか。 ⑩卒業生への支援体制を整備しているか。 ⑪産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか。 ⑫社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか。

自己点検評価:4(5段階評価)

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(6)教育環境	①教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。 ③防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか。 ④学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか。

自己点検評価:3(5段階評価)

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(7)学生の受入れ募集	①高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか。 ②学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか。 ③入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか。 ④入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか。 ⑤経費内容に対応し、学納金を算定しているか。 ⑥入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか。

自己点検評価:4(5段階評価)

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(8)財務	①学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか。 ②学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか。 ③教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか。 ④予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか。 ⑤私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか。 ⑥私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか。

自己点検評価: 4 (5段階評価)

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(9)法令等の遵守	①法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか。 ②学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか。 ③自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか。 ④自己評価結果を公表しているか。 ⑤学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか。 ⑥学校関係者評価結果を公表しているか。 ⑦教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか。

自己点検評価: 3 (5段階評価)

評価

○コロナ渦の中、優秀作品講評会、優秀作品発表会が、オンラインで家族の方等も参加が出来るのは素晴らしいと思います。専門学校で何をやっているかをオンラインで気軽に確認できるのは保護者にとっても嬉しいと思います。コロナ渦が収まっても、保護者へのアピール含めて、一つの強みとして、残しても面白いのかと思います。

○オンライン授業と対面型授業の双方を工夫しながらのご対応の大変さはとても共感いたします、先生方のご苦労が報告書からも伝わって来ましたが、二級建築士学科受験については模擬試験を全員登校させて行ったことや、コミュニケーションをオンライン上で行う工夫も素晴らしいと思います。

○コロナ禍により どのゼネコンもサブコンも業績が下がっている中での求人票が増えているのは驚異的です。やはり、デジタルデザインの取り組みが評価されてのことでしょうか。弊社も業務上でBIMの必要性を迫られております。提出する成果物が建築・機械・電気ともにBIMで提出しなければいけないということがだんだんと求められるようになりそうです。

○オンライン授業に早くから取り組み試行錯誤したことが、この結果に寄与していることと拝察します。コロナ禍もいずれ沈静化する中で徐々に通学に戻るとは思われますが、せっかく今回の経験で勝ち得たオンライン授業のノウハウを無駄にすることなく、メリットを活かし、オンラインと通学のハイブリット授業を貴校独自のノウハウとして作り上げていただくことを期待しています。

○近年、少子高齢化が進む中で人材の有効活用にはリカレント教育が重視され始めています。社会に出て色々な経験をした中で、改めて学び直すことで多様な人材を育てるという試みですが、建設業界は変わらずに人手不足が続いており、他の業種の方が建築を学び直し、チャレンジする分野として魅力的であるといえます。一方で社会人の学び直しで壁となりやすいのが、働きながら勉強時間を捻出することと思慮します。また地方では建築を学びたくても夜間の学校が無いなどの壁もあるでしょう。私もお世話になった貴校の夜間学部にてオンラインでカリキュラムを提供することができれば、そのニーズに応えることができるかもしれません。現状で入学者数に既に満足の状況かもしれませんが、社会貢献の一環として社会課題であるリカレント教育を貴校が担うことは、社会にとっても貴校にとっても意義のある取り組みになるのではないのでしょうか。

○今後の授業のあり方についても、コロナ禍の社会情勢が一気に改善されることは難しく、対面型・オンライン授業の併用を模索していくことになるかと思えます。特に学校の性質上、設計などの実技科目もあり、その授業形態の在り方が大きく問われますので、引続き柔軟できめ細やかなご対応をご配慮願います。

また、このような状況下では、学生の健康状態をどう管理していくかも学校としての重要なポイントになると思われます。基本的なコロナ関連の知識習得、感染予防意識の向上、同居家族を含めた体調確認、学校行事などの諸活動への対処、プライベートの会食などにおける行動基準の教宣など、学校側の責任を問われる局面も多いかと思えます。そのあたりもいかにバランスを取りつつ学校運営を継続していくかも評価につながると思います。非常に制約が多く、日常的で活発な活動が難しい環境下ですが、引続き、現在在籍する学生さん達の授業はもちろんですが、体験入学などの学校行事運営、建築士試験対策、大卒就職活動など、多方面に渡る適切な運営を継続して頂きたいと思えます。